

判じ絵 江戸のなぞなぞに挑戦！ — 同時開催 涼を愉しむ

会 期 2015年7月4日(土)～2015年9月6日(日)

判じ絵とは、江戸時代に庶民の間で流行した言葉遊びの一種です。言葉を絵に置き換え、その言葉とはまったく無関係な同音の絵や文字で表したクイズのようなもので、「目で見るとなぞなぞ」と言われます。同音異義語の多い日本語ならではのだじゃれやしやれが効いていて、江戸時代の人々のセンス、ユーモアが感じられるものです。本展では、大人から子どもまで、江戸の文化に親しんでいただくとともに、その謎解きにも挑戦していただきます。

〔同時開催〕涼を愉しむ

夏、人々は水辺に涼を求めたり、蛍狩りなどの夕涼みや夏ならではの動植物を楽しみ、過ごしてきました。本展覧会では夏の風情と涼を味わうことができる日本画をご紹介します。

会 場 高崎市タワー美術館（〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773）

開 館 時 間 午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）

金曜日のみ 午前 10 時～午後 8 時（入館は午後 7 時 30 分まで）

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）

会期中の休館日：7/6・13・21・27、8/3・10・17・24・31

観 覧 料 一般：500 円（400 円）、大学・高校生：300 円（250 円）

- 「判じ絵」「涼を愉しむ」いずれもご覧いただけます
- ()内は 20 名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方 1 名、65 歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

協 力 蛇足庵

後 援 高崎市教育委員会、朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、J:COM 群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業

- 講座「江戸の判じ絵」 練馬区立石神井公園ふるさと文化館館長・岩崎均史 7/26 14:00～
- 学芸員によるスライドトーク 7/4、7/19、8/8、8/23、9/5 14:00～